

# TAKUの 我行我素

## 今年も夜狼獅琥 2017



さて、私は一応喪中ということで、新年のご挨拶は控えさせていただいておりますが、まあともかく、今年もみなさんよろしく願いいたします m( )m

例年言っておりますが、俺の場合、年頭にあたってどうやらとかはあまり思わないので、あらたまっの抱負等は書けないんですが、それでもね、やはりこうなんていうか、普段からこうあるべきなんだろうなみたいなイメージに、現実が追いついてない欲求不満的な思いをいっている事柄を、今年こそは少しでも改善していこうとかは思うわけで、でもね、なかなかどうして思うようにはいかなかったりもするわけです。てゆうか実際問題、個人的な自分のコトなんかってのは、案外どうにでもなるんですよ。自分がどうにかすればいいんだから。

しかし我々はバンドですからね。そうチーム。しかももう、みんなわりといい歳こいた臺が立ったおっさんの集団ですからね。今さらあっち行くにもこっち行くにもなかなか大変なわけですよ (笑)

そういえば、ストーンズの新譜聴いて色々思ったよ。アルバムの内容そのものよりも、どちらかというとその制作過程や、ベテランバンドとしての考え方みたいなコトに関してね。あと例えば KISS を観ても色々なコト思うしね。

どんな考え方で、何をめざしてどう進んでいかみたい姿勢もそうだし、実際の仕事の仕方・選び方もそうだし。キースやジーンやポールの自伝とか読んでるとね、結局第一線で長く続けてる人ってのは、より良く変化していける人なんだってことがとてもよくわかる。

誰でも何でも時の流れとともに少しずつ変化していくんだけど、問題なのは、それでどんな変化をしていくかってことなんだと思う。

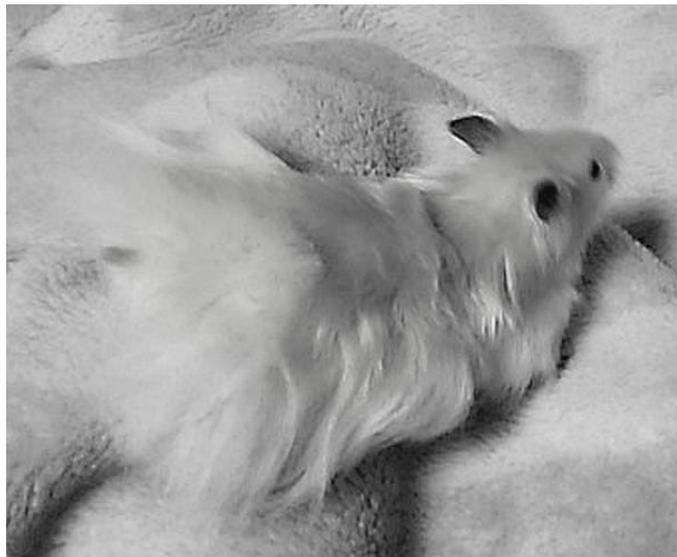
我々も今年はデビュー37周年を迎える。平均年齢59歳のロックンロールバンドが、何を思い、その思いをどのようにみんなに伝えていくのか。もし日本に「ロックの殿堂」があったとしたら、俺はそこにバンドとして胸をはって入りたいし、応援してくれてるみんなが銀蠅ファンであることを誇れるようなバンドでいたい。



年頭にあたって、俺は自分的な抱負というよりは、そんなこと思ったりしていました。結局は今年もまた精進あるのみですね。



ところで、せっかく正月号ということなので、ウチの“ごまめ”の写真もついでに載せちゃいましょうか（笑）



というわけでみなさん。今年は表1のインタビューで、嵐さんが100本ライブを入れるとかなんとか言っていますから（笑）一緒に楽しめる機会が増えると思います。

『ぶっちぎり35』を聴きなおして、是非予習しておいて下さいね(^-^)

TAKU